

くらしと医療

2023年7月号 (第69号 毎月1日発行)

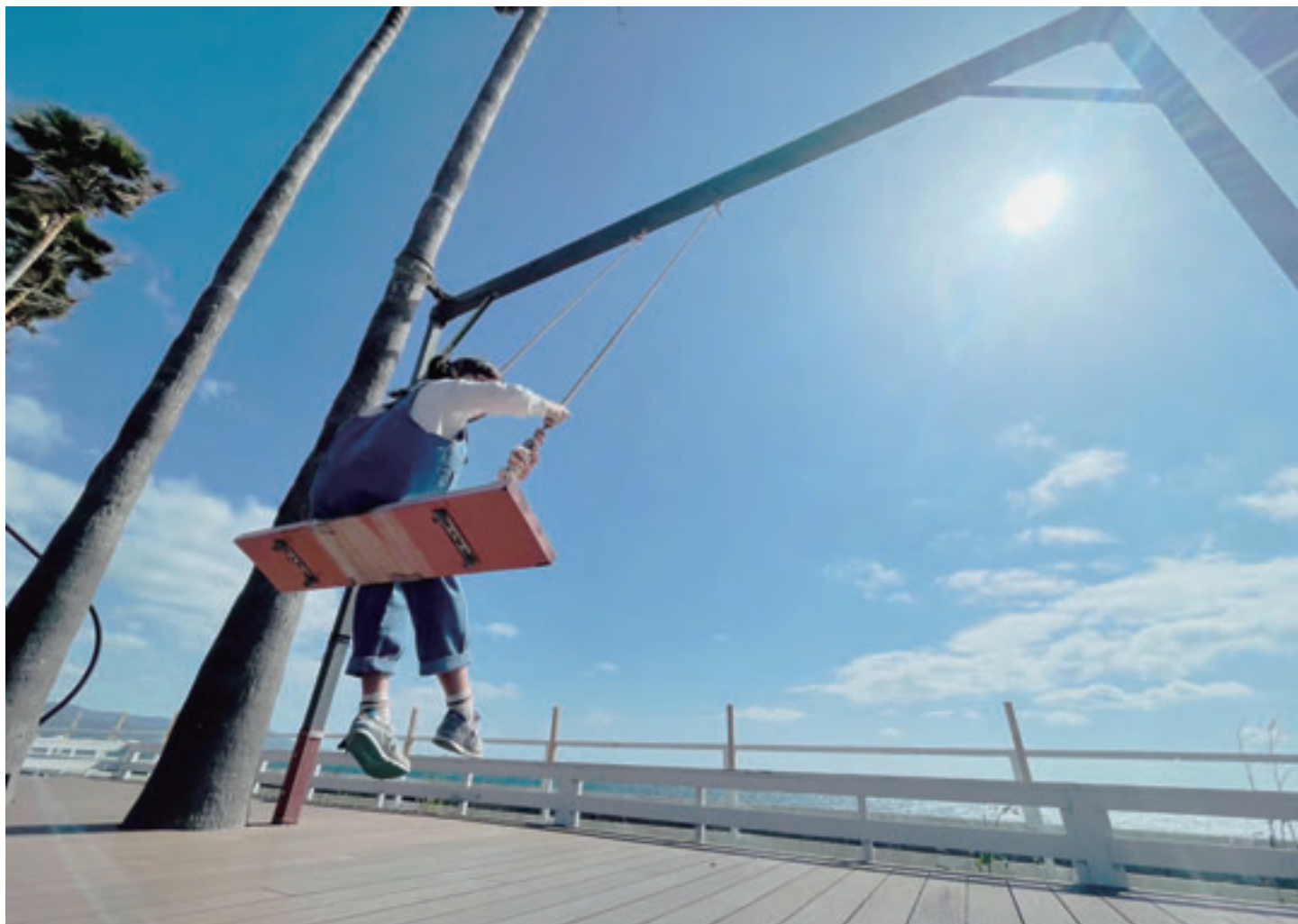
大阪みなみ医療福祉生協の現勢

(2023年6月1日現在)

●組合員	27,906人
●出資金	713,427,970円
●一人平均額	25,565円

大阪みなみ医療福祉生活協同組合 発行責任者：今口 朋

堺市東区南野田127番地 『くらしと医療』機関紙委員会
TEL.072-236-3217 HP <http://osakaminami.net>
E-mail kumikatu-2@osakaminami.net



▲「もっと押してえ〜」(撮影/森 花子さん 堺市中区)

虹の
かけはし



3年少し不自由な生活を強いられたコロナウイルスもやっと弱体化してきて、5月の大型連休は海外旅行に国内旅行にと出かけられるようになりました。人出はコロナ前より多くなって、反対に働き手がなくて困っている宿泊施設がとて多いとテレビのニュースで聞きました。

また、マイナンバーカードの普及率が70%を超えるほどになったとも報道されています。マイナンバー20000ポイントはそれほど魅力なんですね。でも、また報道で「住民票を取ったら全然知らない他人の住民票が出てきた」とか、「マイナ健康保険証が他人の情報になっている」とか言っていました。

マイナンバーカード、本当にどうなっているんでしょうね!! もっと、ちゃんと整備してから進めていけばいいのじゃないか。政府の方はがんばっておられるのでしょうけど、ちょっとこれではマイナンバーカードは安心して利用できませんね。

(羽曳野エリア H)

表紙に掲載! あなたの『夏』の写真を大募集!

採用者には『QUO(クオ)カード』をプレゼント!

▶写真は(横長)サイズのものをお送りください。

送り先は12ページをご覧ください。



生活が苦しいときは 生活保護の申請をしましょう



5月号で「くらしに役立つ制度」をご紹介しました。今後は、生活保護の申請、国民健康保険料の減免、介護保険料の減免、公営住宅の家賃減免、国民年金保険料の減免、入院助産制度、就学援助制度、緊急小口資金について、順次制度の説明などを行っていききたいと思います。

◆
今月は「生活保護の申請について」です。

「生活は苦しいが、生活保護の申請はハードルが高いのでしづらい」と考えている方はたくさんおられます。しかし大切なことは、生活保護の申請は国民の権利だということです。日本国憲法第25条では、『①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない』と明記されています。このように国民の権利と政府の責任が明らかにされているのです。

今の社会は、貧富の格差が非常に大きくなっています。

◆
最近堺市生活と健康を守る会が相談を受けた事例を紹介します。

● Aさんは、一人暮らしの68歳の男性。自営業をされていたが、仕事が少なくなり廃業。年金は無年金。今後どうして生活をしたらよいのか悩ま

● Bさんは、一人暮らしの高齢の男性。奥さんが年金とパートの仕事で家計を切り盛りしていました。が、奥さんが亡くなり、自分は無年金のため生活ができないと相談にきました。生活保護の申請をしました。

最近の生活相談では、少ない年金とパートやアルバイトで生活をなんとか支えてきたが、病気や高齢などが理由で仕事ができなくなり、年金だけでは生活ができないので、どうしたらよいのかという相談が増えてきています。

しかし今、生活保護を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。生活保護バッシングが幅を利かせており、生活保護を利用する人たちに悪罵（あくば）を投げかけています。また、相次ぐ生活保護費の引き下げが生活保護利用者を苦しめています。同時に、今後は級地の見直しなどで、さらなる生活保護費の引き下げが想定されています。

◆
私たちは訴えます。「今の日本はおかしい」と。憲法25条で謳（うた）われている「健康で文化的な最低限度の生活」が保障されていません。私たちが汗水流して働いて納めた税金が、軍費や大企業の儲けに使われています。私たちの税金は、国民の生活が潤う予算に変えるべきです。国民のくらし最

優先の予算を確立すべきです。そうすれば、少ない年金の底上げも可能になり、最低賃金の引き上げにもつながります。そして、生活保護利用者に対するバッシングも減ると思います。大事なことは、国民の生活基盤の向上を勝ち取るために、政治を変えることです。

◆
今、全国で闘われている「生活保護基準の引き下げ違憲訴訟」での勝利という、歴史的・画期的な成果に確信を持ちましょう。国は今すぐ裁判の控訴を取り下げて、生活保護費を元に戻すべきです。裁判勝利のためにみなさん方のご支援をよろしく願います。

堺市生活と健康を守る会（☎072-275-0414）では、生活保護申請についての相談も受け付けています。みなさんの周りで生活保護について、持ち家や車の保有、預貯金や生命保険の保有などで困っている方がおられましたら、お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

新入職員さん紹介

ようこそ！
お願ひします！



後列左から

● 島田 雅之さん

（北野田ヘルパーステーション サービス責任者・介護福祉士）

● 神瀬 裕基さん

（堺北デイケア 介護福祉士）

● 垂井 雅仁さん

（堺北診療所 事務）

● 松岡 龍星さん

（デイサービスひまわり 介護福祉士）

前列左から

● 古田 ひとみさん

（北野田診療所 事務）

● 松本 早也佳さん

（堺北診療所 事務）

● 岡田 桂さん

（組合員活動部 事務パート）

● 赤木 恵梨華さん

（ケアプランセンター北野田 ケアマネジャー）

● 川村 佳子さん

（ケアプランセンター北野田 ケアマネジャー）

診察室

●北野田診療所
看護師長 石田 十四子

「WITHコロナ」とは？



コロナかも？
体調に異変を感じたら
どうすればいいの？

まずは、備品（検査キット・薬など）のチェックを！ 新型コロナ検査キットは、研究用ではなく国が承認したキットを用意しましょう。

①自分で検査してみよう

陽性なら自宅で療養しましょう。陰性なら感染予防対策をしつかり継続。重症化リスクのある方や症状の重い方は医療機関に連絡を取りましょう！

②医療機関を受診される方はマスク着用で受診を

受診される場合は再度検査をすることになりますが、検査費用、診察費用全て保険診療（1割・3割負担）となります。濃厚接触者の概念はありません。同居の家族の方も感染予防対策を行い、普通の生活をしてください。

③陽性者本人の行動制限はありません

しかし、学校法で定められてい

る5類に分類されている季節性インフルエンザ同様、出席停止期間（発症後5日経過、かつ解熱後2日経過）が推奨されています。企業の場合は、安全配慮義務の観点から「テレワークを命ずる」「休業命令を出す」などの検討が必要です。それぞれの職場で確認してください。

（厚生労働省のガイドライン参考）

北野田診療所（※）では、今まで同様マスク着用をお願いし、検温・手指消毒を継続、発熱外来を続けています。発熱のある方は、一般外来終了後に発熱外来へ案内します。発熱がなく風邪症状のある方は、問診した上でコロナ抗原検査（保険診療）を実施し、陰性確認後に診療所内へ案内します。医療従事者の感染予防対策は、陰性確認後は通常勤務としました。

しかし、まだまだウイルスは健在です。感染患者さんも増加傾向にあります。一般患者さんと発熱（風邪症状）患者さん、どちらの患者さんも安心して診療を受けていただけるよう、最善の方法を検討しながら「WITHコロナ」に取り組んでいきたいと思っています。

※各医療機関によって対応が異なります。受診する前に確認してください。

読者の川柳

◆5月から

「コロナ5類よ気づけよう」

◆大阪狭山市 尾上 静江さん

◆アレクサに

「耳が遠い」と当たる妻

◆堺市東区 尾方 仁士さん

◆梅桜

藤花めぐりテレビより

◆羽曳野市 立花 千代子さん

◆みどりの日

山道行けば目に染む

◆（松原市 岡林 哲夫さん

◆「今日もな」と

母の手握り「がんばろう」

◆（岸和田市 平松 繁信さん

◆体脂肪

豚バラ肉と両天びん

◆（岸和田市 合田 佳代さん

◆「コロナ禍に

しばし交流笑みこぼれ

◆（岸和田市 竹原 英子さん

◆検診で

早期発見ただ感謝

◆（岸和田市 豊田 佳代子さん

◆プーチンも

ワグネルも皆地獄行き

◆（岸和田市 宮本 真砂さん

◆海開き

君溺れるな貸しがある

◆締切は 7月31日

（堺市堺区 藤田 治雄さん

ボランティア
さんによる

北野田エリア 楽しい行事がありました!



相撲甚句



シャンソン歌唱

5月2日(火) お昼より、北野田デイサービスセンターフロアにて、ボランティアさんによる行事がありました。これまではコロナ禍でしばらく開催されていませんでしたが、ようやく再開できる運びとなり、利用者さんも新鮮な面持ちで鑑賞されていました。

演目は「朗読」「シャンソン歌唱」「相撲甚句」「ハーモニカ演奏」の豪華4本立てです。ボランティアのみさんの語りや歌声、演奏に交え、楽しいトークも聞かせていただき、素敵な時間を過ごすことができました。

また、5月の連休明けからは、これまで休止していた利用者さんによるカラオケも再開しております。みなさんモニターの前に集まってマイクを握って「のど自慢大会」。カンカンと鐘の代わりに鳴るのは、スタッフの大喝采の拍手です。普段お声が小さな方もしっかりと声を出して歌われ、「あー楽しかった」と笑顔で帰られました。

北野田デイサービスセンターでは毎日、お風呂や昼食、運動などのサービス提供の他に、レクリエーションや趣味活動、季節の行事なども行っており、利用者さんが心身ともに元気になっていたというご支援さ



ハーモニカ演奏

北野田デイサービスセンター
236-0311
236-072
(担当: 吉田・雑賀・浅井まで)

せていただいております。介護のご相談や見学、体験利用のお申し込みなど、どうぞお気軽にお問い合わせください。



カラオケ



支部総会シヨット



▲狭山東支部



▲狭山南支部



▲高松・丈六支部



▲西野支部



▲泉北支部



▲草尾・大美野支部

『第4回 フードバンク』を開催しました!



堺北診療所フードバンクは、今回で第4回を数えました。これまでは診療所の待合ロビーにて実施してきましたが、「診療所から遠い方には利用が難しい」との意見があり、今回は診療所から離れ、地域に出て実施することになりました。

場所の選定にあたっては、なるべく診療所から遠くて人口の密集している地域がいいということで、堺駅から近く、戎島団地のそばの「二三会館」をお借りしました。堺北診療所から離れた場所での実施は、物品の搬送がともなうことから、手間も人の数も必要となり、段取りに苦慮しました。けれども、多くの組合員さんの協力のおかげで無事に新しい試みを終えることができました。



●堺北診療所

〒590-0936 堺市堺区宿屋町東2丁1-5
TEL.072-233-6569 FAX.072-229-6506

●通所リハビリ

〒590-0936 堺市堺区宿屋町東2丁1-5
TEL.072-233-6608 FAX.072-233-6608

●ケアプランセンター堺北

〒590-0936 堺市堺区宿屋町東2丁1-5
TEL.072-229-9051 FAX.072-229-6506

また、過去3回行われたフードバンクは、毎回雨模様の中での開催でしたが、今回は晴れて人手を誘ってくれました。利用いただいた方々の人数は54名で、よかったと思う取り組みとなりました。

終了後は、今後の反省点も出し合いました。開催場所へのぼりや張り紙をして、わかりやすく明示したほうがよかった」「生活相談や医療相談も受けられるように準備をしっかりとした方がよかった」などの意見が出ました。これらの意見を踏まえ、次回の開催に備えたいと思いました。(第4回フードバンク実行委員長 袋井龍成)



『ばら庭園』へ行ってきました!



三宝支部では、5月18日(木)に浜寺公園内にある「ばら庭園」に行ってきました。参加者は5名でした。

浜寺公園では、毎年数百種類のバラが植えられ、5月中旬には見頃となります。多種多様な色とりどりのバラを見るのもワクワク



しますが、マスク越しでもところどころでフワッとバラのいい香りが漂ってきます。庭園内にはベンチもあり、少し歩いては休憩し、またバラを見ながら歩いては休み、きれいに手入れされているバラをゆっくり心ゆくまで満喫できました。

庭園を出てからは、青空のもとでお弁当を広げました。食べながら健康の話に花が咲き、参加者全員で楽しい時間を元気に過ごすことができました一日になりました。(三宝支部 青松美子)

『街角健康チェック』市支部



きれいな青空のもと、午後2時半～3時半まで、久しぶりに戸外での『街角健康チェック』を、地域の人たちに親しまれているザビエル公園(戎公園)で行い

ました。時間的なこともあって子連れの方の姿は見られませんが、準備をしていると「お知らせビラを見て来ました」と少し高齢の方がやって来られました。さっそく運営委員さんの出番です。血圧と体脂肪を測り、終わると和田看護師さんが最終チェック。血圧や体脂肪について詳しく説明をされ、さらに食事のことや「暑くなってきたので水分補給は充分にしてください」などお話をくださったので、参加された方は満足げに帰っていかれました。

公園で休息している方へスタッフが声をかけて、次々と健康チェック。準備していた用紙がなくなり、早仕舞いとなりました。この日は8の方が健康チェックを受けてくださいました。次回はもっと準備をしていかねばと反省もしました。(市支部 田中千壽代)

..... 羽 曳 野 エ リ ア



3年ぶりのお花見でみんな笑顔に!

丹比支部では、3月30日に3年ぶりにお花見をしました。参加者は、新組合員さん2名を含めた26名でした。例年なら四天王寺大学まで歩いて行っていたのですが、今年は生きがいサロン5号館の池のほとりで行いました。花冷えのなか、桜はきれいに咲いて私たちを迎えてくれました。お弁当の到着を待つ

間、大谷さんが考えてきてくれたクイズを、難しかったけれど頭をしょりながら答えました。通りすがりの人も参加したそうに立ち止まっていた。3年の長い年月をかけ、やっとコロナ前に戻りつつありますが、まだまだ安心せず笑顔で過ごしていきたいと思いました。



●コープ診療所

〒583-0885 羽曳野市南恵我之荘4-5-1
TEL.072-938-6226 FAX.072-939-1859

●訪問看護ステーション きずな

〒583-0883 羽曳野市向野2-15-14
TEL.072-938-6425 FAX.072-938-6425

●ヘルパーステーション きずな

〒583-0883 羽曳野市向野2-15-14
TEL.072-938-6330 FAX.072-938-6329

●ケアプランセンター きずな

〒583-0883 羽曳野市向野2-15-14
TEL.072-939-1850 FAX.072-939-1808

※午前受付＝午前8時30分～12時30分まで。
土曜日は12時15分まで。
※午後受付＝午後5時45分～7時45分まで。
※土曜日の乳腺外来は、第2と第4土曜日です。
※エコー検査は技師の都合で曜日変更になる場合があります。
※乳腺・甲状腺エコーは金・土曜日です。
※乳腺マンモグラフィーは第4土曜日は行いません。
※夜間診療は小児科はありません。(乳幼児は専門医療機関をおすすめします)
※金曜日 中村所長は乳腺特診のため完全予約制です。
電話番号は▶072-938-6226

梅雨入りを控え不安定な天候が続いておりますが、お障りなくお過ごしでしょうか。
6月になると気温と湿度が上昇していきます。まだ暑い季節に身体慣れず、油断していると熱中症になる可能性も高まります。除湿・冷房をつけたり、十分な水分補給を心がけてください。また気温と湿度の上昇に伴って食中毒の原因となるウイルスも増えやすくなるので衛生管理にも注意しましょう。

さてコープ診療所では、
特定健診、乳がん検診、骨粗しょう症検診など予約受付しています。
乳がん検診は完全予約制(毎週金曜日・第2・4週目の土曜日)で年度末は毎年混み合いますので、夏の時期がおすすめです。
お気軽にお問合せください。

コープ診療所 TEL:072-938-6226

診療のご案内

		月	火	水	木	金	土
午前診療 午前9時より 午後12時 30分まで	担当医	中村	中村	中村	中村	田中 中村	パート医 中村 (乳腺2・4)
	診療科	内科 外科 小児科	内科 外科 小児科	内科 外科 小児科	内科 外科 小児科	内科・外科 乳腺 小児科	受付12:15まで 内科 外科 乳腺
夜間診療 午後6時より 午後8時まで	担当医	中村	—	野崎	—	交代制	—
	診療科	内科	—	内科 膠原病 リウマチ	—	内科	—
放射線		○(午前・午後)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)
腹部エコー		○(午前)	—	—	—	—	—
心臓エコー		—	—	○(午前)	—	—	—
頸動脈エコー		—	○(午前)	○(午前)	—	—	—
胃透視		○(午前・午後)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)	○(午前)
乳腺・甲状腺エコー		—	—	—	—	○(午前)	○(午前)
乳腺マンモグラフィー		—	—	—	—	○(午前)	○(午前)

..... 阪南エリア

第4回『フードバンク』を開催しました!



5月21日(日)午前10時より、阪南エリアで4回目となるフードバンクを開催しました。場所はいつもと同じく、阪南医療生協診療所の駐車場で100人規模を予定し、阪南エリアフードバンク実行委員と組合員さんを

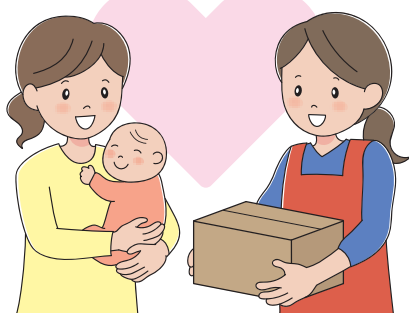
中心に準備が進められました。フードバンクを開催するにあたり、地元自治体、多くの団体などから協賛をいただき、組合員さんや地域の方々からも食材や募金による多くのご協力をいただきました。

当日は、地域の組合員さんや職員など約30名が集まり、「ひとりでも多くの方に食材支援を!」と気持ちを一とつにして準備に奮闘。悪天候が続いていた週末ですが、久しぶりに天気に恵まれ晴天となり、開始30分前には20名近くの人たちが並び、開始時間を待たずにスタートすることになりました。



「助かります、このようなイベントを継続してください」など、フードバンクへの期待の声が多く寄せられました。今回用意していた食材や日用品は、1時間程で100名を超える来場者にお渡しすることができました。また、取りに來られない方へは組合員さんが届けてくれたり、健康福祉短期大学の学生さんへの支援もでき、合計すると150名以上の方へ食材を届けることができました。少しずつ、「阪南医療生協のフードバンクが地域に根付いてきたかな」との印象を受けました。

引き続き「国民の生活を守る支援を」「みんなが平和で安心してくらせる社会を」と声をあげていきたいと思えます。今回ご協力いただいたすべての個人・団体の皆さん、組合員さん・職員の皆さん、ご協力ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。



● 阪南医療生協診療所

〒596-0004 岸和田市荒木町2-2-18
TEL.072-441-8881 FAX.072-441-8977

● 訪問看護ステーション ひまわり

〒596-0004 岸和田市荒木町2-2-18
TEL.072-441-8910 FAX.072-441-3131

● デイサービス ひまわり

〒596-0004 岸和田市荒木町2-2-18
TEL.072-441-1781 FAX.072-441-0333

● デイサービス ひなた

〒596-0812 岸和田市大町4-1-10
TEL.072-441-3317 FAX.072-441-3327

● 介護ネットワーク ひまわり

〒596-0004 岸和田市荒木町2-2-18
TEL.072-441-1664 FAX.072-441-2664



『私の戦争体験』

訪問看護ステーションきずな

◆ 林 朋子さん

(母) 木下 新子さん

(羽曳野市)

昭和13年生まれの私は、母と二つ下の妹とまだ幼い弟の4人で福井の小浜に疎開し、祖母と伯父家族と生活することになりました。

農家ではありませんでしたのでお米は貴重でした。私は小柄でしたが、二つ下の妹は私と同じ体格で私以上に腹を空かせていて、伯母の目を盗んで米櫃の生米を食べていました。残っている米の高さを米櫃に記されるようになり、妹以上に母は大変辛かっただろうと思います。

疎開先の祖母は大阪から来た私たちに優しくかったです。お櫃に残った米飯をザルにあげ、干して、炒っておやつにしてくれました。

干している間に集団学童疎開の子どもたちにとびたび盗まれ、私は悔しがりました。祖母は「これくらいのこと不満を言うな。お前たちは家族がいる。あの子たちにはそばに家族がない」と言っていました。祖母は器の大きな人で、母も助かったと思います。

風呂の火を薪で焚べているときに母がよく私を呼びました。火の番をさせるのですが、「誰にも言うな」と蒸したじやがいもをくれました。後に「さつまいもがよかったのに」と母に言うのと、「さつまいもは匂いがするから」と言われました。妹は「私はもらってない」と言いましたが、母は「黙って食べられなかっただろう」と言いました。

私たちは疎開先があり恵まれていたと思います。子どもも辛かった戦争ですが、

腹を空かせた子どもを育てていた母たちも辛かっただろうと思います。

現在母は認知症で、戦時中の話もしくなりましたが、私が小さい頃は何度も聞かされ、食べ物の大切さを教えられました。今の日本でもこのような話を伝えることは大切だと思います。

◆ 田宮 正彦さん

(河内長野市)

戦争準備の政策に大反対です。

1945年(昭和20年)6月、私は「班登校」(集団登校)の班長をしていました。奉安殿(天皇の写真が奉納している建物)の前で行う「最敬礼」の号令を粗雑にしていたことを校長先生が見ており、駆けつけた校長先生から「校長室に来い」と呼ばれました。校長室に行くと、「お前も悪い。わしも悪い。ともになぐり合おう」とメガネをはずし

て構えられましたが、校長先生をなぐれるはずがありません。当時出勤簿は校長室にあり、そのうち担任の先生も入ってきて、校長先生に事情をたずねるとすぐに出ていきました。担任の先生からも厳しく叱られるだろうと思っていました。叱られませんでした。

当時は「罪滅ぼし」をすることになっており、理科室に取り入れられた麦の脱穀をすると申し入れて、放課後に一人脱穀をしている自分が情けなかったことも忘れていません。

このことがあつてからしばらくして校長先生にも召集令状が来て、お別れの式が講堂でありました。私を見つけた校長先生は、「あのときはすまなかった」と謝られました。そのときは理解できませんでしたが、戦場に行けば自分の命がないとの考えから出た言葉であったことを、戦争学習をすることで理解できました。

戦争体験談を募集します！

7月～9月号に『私の(家族の)戦争体験記』の特集コーナーを予定しています！

戦争する国づくりへの準備がおしすすめられるなか、戦争の悲惨さを次世代に引き継ぎ、平和の大切さをみなさんと一緒に考えるため、「戦争体験談」の連載を計画しています。戦争を体験したご本人、ご家族から聞いた体験などを200文字～1200文字程度にまとめてお送りください。みなさまからの貴重な体験談をお待ちしています。

『私の地元おすすめスポット』

『地元の穴場』をご紹介ください！
おすすめのコウキングコーサや観光スポット、釣り場、お花がキレイな公園や絶景スポット、秘境など、「みんなに知ってほしい！自慢したい！」おすすめスポットをご紹介ください！

- 1 自慢したい場所の名前と住所(知っていれば)
- 2 自慢したいポイントを200～1200文字
- 3 写真 1～2枚
- 4 おところ
- 5 お名前

以上を明記の上、左記あてまでお送りください。

▼郵送先はこちら

〒599-8124

堺市東区南野田127

大阪みなみ医療福祉生協・

組合員活動部

▼メールはこちら

kunikatu-2@osakaminami.net

『平和のありがた味』

◆ 山田 幸子さん

(堺市美原区)

昭和17年4月、叔父(母の弟)が姫路連隊に入隊しました。前年の12月に真珠湾への奇襲が始まった太平洋戦争で召集を受け、24歳での入隊でした。

祖父母や両親と姫路城前の広場に行き見送りました。その後のことはわかりませんが、終戦間近に中支(中支那派遣軍)より傷病兵として白浜の温泉病院に入院

治療した頃、白い傷病着(?)姿の叔父に会いました。戦後、叔父や母からの話で戦争中の様子がわかりました。

叔父は中支の戦争で中隊長として指揮をとっているとき、弾丸が背中より胸に抜ける負傷をしました。脊柱の右から胸に貫通、もう少しずれていたら即死だったそうです。でも不幸中の

幸いか急所を外れて一命をとりとめたのですが、手当を受ける野戦病院までは、昼は木々のかげに身をかくし、夜は担架で部下が何日もかかり病院に運んでくれたそうです。

日本に帰ってから砲弾の破片が身体の中を移動し、身体のおちこちに瘤(こぶ)のように出て、そのたびに手術で取り除き、叔父の身体には何力所も傷として残っていました。

出征した人たちも大変な思いをされ、命をなくされた方もたくさんおられました。残された家族もまた、我が家も父の出征後に残された私たち(母・祖母・私・弟・妹)は、大切な物は庭に掘られた防空壕に入れていました。

食糧は少量の配給米をおかゆにし、量を増やすために田圃(たんぼ)の畔で採ってきた

「野びる」や「たんぼぼ」の葉などを入れていました。特に「野びる」は臭味があるので、カレー粉を入れて臭いを消して食べました。

炊事をするにも現在のような都市ガスはなく、薪での煮炊きでした。その薪もなくなり、母と祖母は3歳の妹を連れて自宅から歩いて1時間余りの山で松の落葉(こく葉)や枯れ枝を拾ってそれを束ねて背負い、帰宅することを定期的にやっていました。

燃料はもとより食材も不足し、私たちはいつも空腹をかかえていました。家の庭は野菜やアワ、ヒエなど食料を育てる畑に変わり、畑で採れたジャガ芋は蒸して塩をつけ、おやつとして食べました。その他、配給であった豆かす(大豆油を絞った残りかす)は、まずまずおいしかったです。

いつも空腹をかかえ、白いご飯が懐かしく、お腹一杯食べたいと思っていました。日頃子ども心に馬鹿に

していた農家の人を、このときほどうらやましく思ったことはありませんでした。

昭和20年8月の終戦から3年以上たっても食料事情は悪く配給制でした。昭和21年頃より駐留軍により週1〜2回、きれいなセロハン紙に包まれたキャンディや脱脂粉乳のミルクが配られました。キャンディはめずらしくて美味だったので好評でしたが、ミルクは不味く鼻をつまんでも飲めず、家に持って帰りましたが誰も飲みませんでした。昭和24年頃だったと思いますが、食料事情が落ち着きました。

現在の飽食時代に私の子どもの頃のようにならなかったらどうなるのでしょうか。空気が同じで、平和のありがた味は何かが起こらないとわかりませんが、平和な状態がずっと続くことを願ってやみません。



大阪みなみ医療福祉生協
『5周年記念誌『あゆみ』』
が完成しました!

大阪みなみ医療福祉生協は、2017年4月に法人合併して、おかげさまで7年目を迎えることができました。

これを記念して、合併から5年間の歩みをまとめた『5周年記念誌『あゆみ』』を、各診療所の待合室に置いてあります。どうぞ、お手にとってご覧ください。



『原水爆禁止2023年世界大会』 〈長崎・広島〉参加者募集のお知らせ

◆ 長崎大会
8月7日(月)〜9日(水)〈2泊3日〉

◆ 広島大会
8月6日(日)〈日帰り〉

▶詳しくはお電話でお問い合わせください
大阪みなみ医療福祉生協
本部 ☎072-236-3217



◆もつすぐ、卒寿です。百寿まで元気にがんばります。

(大阪狭山市 堀口忠男さん)

◆減塩を心がけていますが、普段口にしている食品には思った以上に塩分が含まれているのですね。「すこしお生活」が楽しみです。

(堺市美原区 藤本澄枝さん)

◆「大阪ぐらり」を読むと知らなかったことがほとんどで、「大阪人とは言えないな」と思い、興味深いです。記事を片手にゆくりまわりたいですね。

(大阪狭山市 関口明里さん)

◆「地元おすすめスポット」で狭山を紹介していましたね。私も12年前まで狭山市民でした。子どもたちとも、狭山遊園や陶器山でたくさん良い思い出ができました。三谷さんの記事がすごく上手で感動しました。

(73歳の「くらしと医療」愛好者さん)

◆四つ葉のクローバーを見つけ、白い花束に添えてプレゼントした女性候補者が見事当選されました。

(大阪狭山市 尾上静江さん)

◆狭山池が載っており、嬉しかったですね。ほぼ毎日一周しております。

(大阪狭山市 曾我部悦子さん)

◆これほどまでに上がる物価、年金は下がるし。でも、維新政治に期待するの、報道の平等が保たれていない。今度は堺市長選挙がある。私たちが声を上げるしかない。維新政治では私たちの生活は守れないことを。

(堺市北区 山口佐知子さん)

◆「虹のかけはし」を読み、目覚めて3時間が動き出すチャンスと、今は健康のために少しでも夫婦で歩くようにしています。時間を見て活動していきたいです。無理せず毎日30分弱でも続けていきます。

(岸和田市 佃千恵美さん)

◆「経口補水液」について、今後は自家製の物を利用していきたいと思います。

(岸和田市 中村佳代さん)

◆5月中旬なのに異常な暑さで、熱中症が心配です。「水分補給の必要性」の記事を読み、脱水症状の自己チェックと私の必要な水分摂取量がわかりました。この記事を参考に、快適に夏を乗りきりたいと思います。

(富田林市 馬場義伸さん)

◆「水分補給の必要性」について学びました。自分としては運動時の水分補給や寝る前の一杯の水、食事ときのお茶など量的にはOKと思います。純粋な水の量をもう少し増やすように心がけたいと思います。

(岸和田市 木岡登さん)

◆病気の後遺症のため手が不自由になりましたが、リハビリと思い、ハガキを出しています。

(羽曳野市 瀧本佐夜子さん)

◆歴代の自民党の総理大臣で、公約通りの政策をしっかりと実行したのは小泉純一郎ただ一人。彼は「日本をぶっこわす」と公約し、本当に日本をぶっこわしてしまいました！

(堺市東区 土居孝さん)

わが家のベストショット!



▲荒樋真由美さん (河内長野市)

写真を募集しております！テーマはなし！被写体はなんでもOK！人物や風景、可愛いらしい動物やペットなど、ほっこりする写真、びっくりする写真、思わずクスッとする写真、いろんな写真を募集しております！写真のタイトルとセリフをひと言(20字以内)書いてお送りください。

《毎月末締切》作品の送り先は12ページをご覧ください。

◆庭のカラーの花が次から次へと立ち上がり咲いていく。今季はいつもと違って2週間ほど早いように感じる。先日「サクラもツツジも早かった。夏はいつもより暑くなるかもしれないね」と、ウォーキングの途中で出会った人が話していた。どんな夏になることやら。

(羽曳野市 道上茂昭さん)

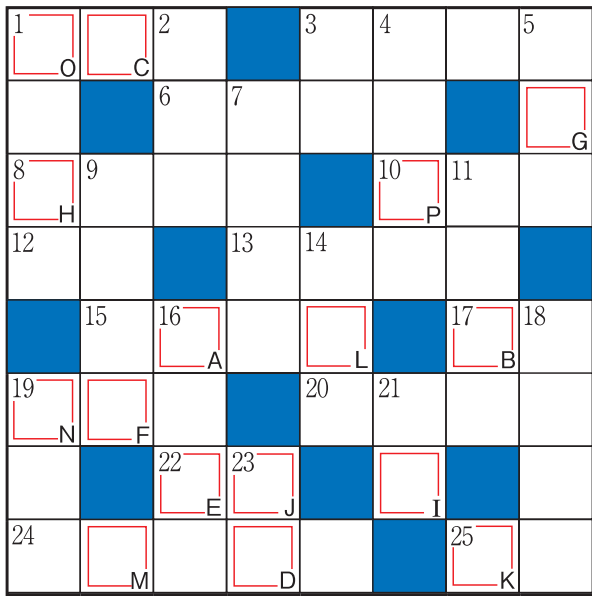
◆例年より10日ほど早い梅雨入り。一晩中降り続いた雨。じめじめ、べたべたした典型的な梅雨の朝。そんな朝

のうつとうしさを向かいの家の、雨に濡れそぼり、より鮮やかになった満開の赤いアジサイの花が癒してくれる。雨の朝もいいかなと思えてくる。

(羽曳野市 道上茂昭さん)

◆75歳になり、車の免許返納に悩んでいます。事故のニュースを聞くたびに恐ろしくなります。でも、ないと買物にも困るし。もっとバスの便を増やすなど困らない対策はないのでしょうか。

(岸和田市 前田重行さん)



カギを解きアルファベット順に並べてできる言葉は何ですか?



解 答	A	B	C	D	E	F	G	H
	I	J	K	L	M	N	O	P

クロスワードパズル

タテのキー

- ① 次第に末の方が広がる
- ② 大相撲夏——
- ③ 雨の多い事。高温——
- ④ プラスの対
- ⑤ 敬虔な——を捧げる
- ⑦ 筆づかい
- ⑨ 貨物運送
- ⑪ 部屋の仕切り
- ⑬ 三人組
- ⑮ 敵の攻撃に対し戦つ
- ⑯ 罪人の首にはめる刑具
- ⑰ 英語の文字。——新聞
- ⑲ 朝廷に仕える者、公卿
- ㉓ すれの所。——どい。

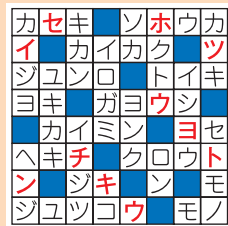
ヨコのキー

- ① 公園内で砂をたくわえた
子どもの遊び場
- ③ ——が抜けたような姿
- ⑥ 小さな違い。大同——
- ⑧ ——は発明の母
- ⑩ 方言などの言葉や発音。
お国——
- ⑫ ——多くして功少なし
- ⑬ ——途に心を集中するさま。
芸——に生きる
- ⑮ さかなつり
- ⑰ 日本の秋の代表的な花
- ⑲ けむるよに降る雨
- ㉓ お盆の最終日に祖先の精霊
を送るために焚く火

5月号の当選者と答え

●応募総数…70通 ●正解者数…70名

曾我部悦子さん、堀口忠男さん、前田重行さん、横山里美さん、西條良子さん、中嶋久子さん、北薹初子さん、川西富美子さん、松元尚子さん、仙頭昌知さん、岡島三郎さん、松浦政功さん、前田純兵さん、夏野薫さん、藤本恒子さん



トウイツ
チホウセンキヨ
(統一地方選挙)

応募方法

- ② 風邪で——が止まらぬ
 - ④ 教科などを時間によつて
割り当てた表
 - ⑤ なくて七——
- ◆締切は7月31日(消印有効)
- 答えはハガキに記入の上、〒599-8124 堺市東区南野田127 大阪みなみ医療福祉生協・組合員活動部まで、ひとこと添えてお送りください。正解者の中から抽選で15名の方にQUOカードをプレゼントします。

理事会通信

第74回理事会は2023年5月23日(火) 18時~20時まで北野田診療所3階会議室で開催されました。

開催にあたり議長に和田常務理事が選出され、中村理事長が開会の挨拶を行いました。前回理事会議事録を出席理事全員で確認しました。

報告事項では今口専務より、大阪民医連及び生協関係発信資料について、新型コロナウイルス感染症への対応について第24報を発信したことが報告されました。北村常務より、組合員活動委員と社保の取り組みについて報告されました。

人事・労務関係について今口専務より、コープ診療所事務が定年となり、再雇用契約にて継続勤務することが報告されました。労働組合との定期協議会について報告されました。社労士との定期懇談で締め日変更にもない改定が必要となる規定について協議したこと、キャリア助成金受給条件の整備について報告がされました。3月の法人経営事業概況について別紙に基づき報告を受け、次に各エリア担当者から報告されました。総代会までのスケジュールについて報告されました。

和田洋一監事より、5月15日

(月)に監事監査を行ったことが報告されました。

討議・承認事項について今口専務より、二項組合員の承認について該当者がいないことが報告されました。ハラスメント委員会の設置について、法人2名と労組2名で委員会を構成し、事業の対応にあたるということが報告されました。総代選挙管理委員会から総名簿の提出があり、公告されたことが報告されました。役員推薦名簿の確認を行い、狭山地域で調整中であること、立候補届出及び受付期間について報告がされました。役員報酬及びエリア委員助成金減額措置の解除を6月27日理事会以降支給分から適用することが提案され、承認されました。就業規則の一部改訂について、時間有給の導入を7月1日施行で常勤と再雇用者を対象にすること及び羽曳野エリアの土曜日の就業時間の改定について提案され、承認されました。パート就業規則の一部改訂について、給与締め日の変更とパート職員の「正規職員への転換」事項を追記することが提案され、承認されました。総代会議案について、別紙に基づき提案され承認されました。

すべての議事が終了したので理事会を閉会しました。



陸軍飛行場と 航空工業高校

NHK連続テレビ小説「舞いあがれ!」の舞台にもなった東大阪市。南東部には飛行機（ただし軍隊の）と無縁ではない歴史がある。近鉄けいはんな線荒本駅北の盾津中学校の正門そばの「盾津飛行場跡地」の銘板は以下のような歴史を刻む。

1934年「大阪の防空と民間パイロットの養成を目的」に大阪陸軍飛行場（盾津飛行場）



が造られた。35年、ドイツからグライダー学校の校長ヒルトが来場し妙技を披露。関西学生航空連盟の練習場にもなり、全国大会や日本帆走飛行連盟のグライダー大会が催された。戦争末期は練習も大会もなくなり、ここで訓練を受けた学生が特攻隊に動員された。

『東大阪市史』によると、飛行場建設のため半ば強制的に土地を買収し、完成と同時に陸軍省に献納。土地買収は戦後政治の「黒幕」と呼ばれた笹川良一が中心になって実施。不承知の者は憲兵から拘留をほめかされ、一人も反対できなかったという。盾津飛行場の北東側にあつた松下航空機で製作された九九式練習用爆撃機「明星」が、飛行場の格納庫で組み立てられていた。

▲若江の忠霊塔

若江本町2-1-3。1943年12月、地元有志数名が土地を提供し建立。日清～太平洋戦争の戦没者260人を記る

▲盾津飛行場跡地の銘板

戦後50周年の1995年8月、盾津中学校の正門そばに建てられた



▲「陸軍省」の標柱 本庄2丁目。トラクタミナル管理棟裏の民家の塀にほぼ埋まっているが陸軍省標柱と見られ「陸軍用地」だったことを示す唯一の証



▲忠魂碑 縄手中学校の隣。昭和天皇即位の祝賀記念として在郷軍人会が1928年建立



盾津飛行場の西隣には大阪練兵場が40年に造られた。陸軍省が地元の有無を言わず直接広大な用地を買収。現在のトラクタミナルや機械団地は陸軍用地だったのだ。

39年には府立航空工業学校（現在の府立布施理工科高校）が設立。航空機的设计・製造・整備の技術者を養成する国策に沿う学校だった。教育内容は高度で大学から講師が来ていたが、軍国主義教育で殴る、蹴るも日常だった。45年6月15日の空襲で校舎は焼失した。

生駒山麓の枚岡神社は周辺地域の出征兵士の多くが出征の壮行会・見送りを受けた場所である。

写真や投稿作品の送り先はこちら!

ハガキや封書、メールでお送りください。

表紙の写真	テーマは「夏」。採用者には「QUOカード」をプレゼント!
川柳・俳句・短歌	テーマなし。
組合員さんの声	テーマなし。
クロスワードクイズ	答えを書いてお送りください。正解者の中から抽選で15名に「QUOカード」をプレゼント!
わが家のベストショット	テーマなし。採用者には「QUOカード」をプレゼント!
ウチの自慢の健康料理	レシピに写真を添えてお送りください。採用者には「QUOカード」をプレゼント!

※いずれも 毎月末締切〈消印有効〉です。

※ご提供いただいた写真はお返しできません。あらかじめご了承ください。

ハガキ・封書の送り先

〒599-8124 堺市東区南野田127

大阪みなみ医療福祉協・

組合員活動部

メールはこちらへ

kumikatu-2@osakaminami.net



B型肝炎罹患でお困りの方へ⑥

二次感染者の提訴条件

二次感染者がB型肝炎給付金を請求するためには以下の支給条件を満たす必要があります。

●母親が一次感染者の支給条件をすべて満たしていること

前提として母親自身が一次感染者としてB型肝炎給付金の支給条件をすべて満たし、B型肝炎給付金を請求することが可能であることが必要となります。

●B型肝炎ウイルスに持続感染していること

この点は一次感染者の場合の支給条件と同じです。

●母子感染したことが確認できること

母親から感染したことが確認

できることが前提となります。確認方法としては、①母親とB型肝炎ウイルスの塩基配列検査を受ける、②医療記録から出生直後の感染を確認する、③母子感染以外のルートによる感染の可能性がないことを確認する、などがあります。

おわりに

二次感染によるB型肝炎でお悩みの方は、間違っても結構です。お気軽に左記までご相談ください。

「お問い合わせ先」

大阪民医連

☎(06)6268-3970

(近藤・松本)